

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち 多額 の経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費			①準用河川整備事業、河川水路整備事業、地域排水整備事業並びに雨水貯留池整備事業を遂行するために必要な経費の支出。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	432	530	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要のため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	550
2	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による家庭で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担軽減へつながる。 ②市民と協働し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるか。	50	34	6精査・検証	①この事業は単年で結果が出るものではなく、継続することで効果が発揮されるものであるため、効果的に実施できるよう常に検証する必要があるため。 ②設置する際には、効果のある箇所を選択する。	50
3	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	○	○	①下流の状況を考慮し、段階的な整備を行う。①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修を行う。②上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②整備の目安がつかっていないため、整備方針等の検討に取り組みない。	2,714	11,893	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要のため。 ②整備時期は未定であるが、整備の目安がつかない段階で整備方針等の検討を行う。	10,903
4	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	○	○	①計画の策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。①流下能力の向上と護岸の保護を目的とした暫定改修を行う。②50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無いようしなければならない。	17,675	49,258	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要のため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	105,347
5	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	○	○	①浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	14,131	42,499	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要のため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	29,908
6	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	○	○	①浸水被害の軽減に必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした貯留池の整備を行う。整備にあたっては、河川の整備計画との整合を図る。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	63,498	68,339	7拡充	①下流の整備が進んでいない現状では、貯留池を整備することで上流部の整備の可能性を生み出すことが出来るため、貯留池の整備を一層進めることにより浸水被害の軽減を図ることが出来るため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	163,770
7	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川管理に要する経費			①河川施設(調整池、貯留池)の管理を適切に行い、浸水被害などの軽減をはかる。 ②今後異常気象等により、大雨の可能性の増加が予想される。	1,482	1,579	6精査・検証	①河川台帳を作成し、電子化を進めていく予定。 ②河川台帳の電子化を進め、維持管理をしていく。	1,644
8	一般	8	3	2	223うるおいある河川・水路の整備	流域環境整備事業	○	○	①河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。 ②施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。	24,857	35,729	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要のため。 ②現状施設の機能維持及び転落による事故防止のための柵の設置を行う。	64,324